

令和2年度 一般社団法人日本登山医学会第2回理事会議事録

1. 開催日時：2021年3月13日（土）14：00～15：30
2. 開催場所：香川大学医学部附属病院手術部カンファレンスルーム（各役員はWeb会議システムで参加）
3. 出席者：
出席者名：白杵尚志、橋本しをり、大城和恵、草鹿 元、井出里香、斉藤篤司、高山守正、夏井裕明、夏井正明、野口いづみ、油井直子、齋藤 繁（監事）
欠席者名：大橋教良、花岡正幸（監事）、増山 茂（監事）、山本正嘉（監事）

4. 議長の選出

定刻に至り司会者草鹿 元（事務局長）は開会を宣し、令和2年度第2回一般社団法人日本登山医学会理事会が一般社団法人日本登山医学会定款第30条に基づき成立せる旨を告げ、議長の選出を諮ったところ満場一致を以て白杵尚志代表理事が議長に選任せられた。次いで議案の審議に入った。

5. 議事の経過の要領及び議決せる事項

白杵尚志代表理事が開会の宣を以て議事に入った。

<審議事項>

第1号議案 事務局年度報告・新年度予算

<会計報告>（草鹿 元事務局長）

- ・2020年の収支について

新型コロナウイルスの影響で、委員会やDIMMなどの活動が制限されて、支出も収入も抑えられた一方で、国からの持続化給付金が200万円入るなどで、黒字会計にはなっている。純資産も横ばいで、法人としての経営状態は安定しているといえる。

<事務局報告>（草鹿 元事務局長）

- ・名簿管理のオンライン化を進めている（Moodle使用）。当初の予算より、低額となりそうである。

<予算案について>（草鹿 元事務局長）

- ・予算申請も、各委員会から概ね例年同様で、例年通りの予算案となっている。ただし、2020年度は、学術集会の開催が遅れたことより、学会誌の発行が2020年度中には間に合わず、2021年度に第40巻、第41巻が発行される予定である。

以上、議場に諮ったところ、承認可決された。

第2号議案 各常設委員会活動について

登山者検診ネットワーク委員会（夏井裕明委員長）

- ・例年だと年4回の会合があるが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、2019年12月を最後に、会合は行っていない。ツアー会社は元々6社ほど参加していたが、現在、高所ツアー協議会も解散しているような状況で今後のことは不透明である。

研究委員会（齊藤篤司委員長）

- ・2020年度は富士山研究は実施できなかったため、2021年度は実施したい。
 - ・重症高山病について現在データベース作成中である。白杵代表理事と高山守正山岳診療委員会委員長にも確認をお願いする予定である。
 - ・上記データベースのため、UMINの運営費用について追加で予算計上が必要となる可能性があり、実際の運営資金が毎年どのくらい経費がかかるのか、次回理事会までに詳細を調査する。
 - ・2020年3月12日に第41回登山医学会学術集会の演題、内容について話し合いを行い、現在はプログラムの作成に取りかかっている。
 - ・今後の査読の作業負担の軽減を目指すための話し合いがあったことが報告された。査読者のリストの作成を検討する。代議員当選者は投稿論文の査読も引き受けるよう依頼する、その方の専門なども研究委員会で把握する等の案がでた。
 - ・（夏井正明）査読者は原則として代議員や理事をお願いするのが慣習だったが、誰がどのようなことの専門家であるのか把握することが極めて困難である。個人情報との兼ね合いもあり、情報収集に苦慮している。
- （井出里香）代議員に決定した段階で査読者までお願いするのはハードルが高いと思われる。
- （草鹿 元）現在各学会員の専門を含む個人情報を、名簿管理データに入力中であるので、今後はそのようなデータも活用できる。

山岳診療委員会（高山守正委員長）

- ・山岳地で新型コロナに感染したという事例は聞いていない。
 - ・2020年度の新型コロナ感染の実態について、各診療所にアンケートをお願いする予定である。
 - ・実際に、いくつかの山小屋を見たが、それなりに感染対策がきちんとなされていた印象だった。
 - ・富士山の山小屋から、登山医学会からの新型コロナ感染防止の提言について、もう少し縛りを緩めてほしいという要望があった。当学会としてはあくまで医師としての学術的見解を述べるべきであろうということとなった。
- 富士山の山小屋に対しては、高山委員長が回答書を作成する予定である。
- （白杵尚志）中には学会ホームページ上の提言を部分的に切り取り、自分の都合のいいように解釈する人もいるようだが、そうさせないように、内容を改良する必要がある

だろう。

(井出里香) 富士山の山小屋を利用するにあたり 1 週間度補前の PCR チェックやワクチン接種の推奨ということ富士山測候所からも提言したい。

編集委員会 (夏井正明委員長)

・最後の改訂稿が昨日届き、これから編集にかかるところである。今年はかなり遅れているので、おそらく完成は5月の学術集会の付近になると思われる。

高山病診療ガイドライン作成委員会 (大城和恵委員長)

・新型コロナ感染症の影響で全般に進行が遅延している。事務局は中外医学社にお願いする予定。2021年において、形にしていきたい。改訂すべきところは改訂するが、継続使用できる部分は使用していく予定である。

専門制度委員会 (草鹿 元委員長)

・DIMM、学会専門医制度ともに、2021年度からスタートすべく、準備中である。全体の8割以上作業は終了している。対面講習は極力避けるためWEB講習の準備も進行中である。

・専門看護師制度については、専門医制度より1年遅れて、2022年度より開始予定であり、現在これに向けて準備を進めている。

白杵尚志代表理事より、専門看護師制度開始において、看護協会との軋轢を生まないよう慎重に作業を進めるよう指示があった。

学会賞選定委員会 (白杵尚志代表理事・大橋教良委員長代理)

・奨励賞は学会誌が未完成なため、選出不能である。

・第40回学術集会田中賞については松本共立病院 市川智英「演題番号1-3 心肺運動負荷試験による登山中の運動強度の予測」を推薦することが報告された。

運営委員会 (橋本しをり委員長)

・登山医学会関係の国際学会は主に5学会 (UIAA、ISMM、ICAR、HIS、WMS) である。しかし、新型コロナ感染症の影響で多くは中止になったり、オンライン開催になったりしている。

・渉外については今回特になし。

・今後は学会誌の広告業務に委員会として関わってほしいとの提案が白杵尚志代表理事よりあった。

倫理委員会 (野口いづみ委員長)

・今回特になし。小野寺昇前委員長からの引き継ぎ案件があると思われるが、特に進捗

がなかった。

・齊藤篤司研究委員会委員長より、重症高山病委員会から、ガイドライン作成について研究計画が倫理委員会の小野寺昇前委員長に送られているため、野口委員長に進捗確認をお願いしたい旨、発言があった。

選挙管理委員会（井出里香委員長）

・過日の代議員選挙結果が提示された。今後は当選者個人への意思確認および、補欠繰り上がり者当選への作業などを行う予定である。

将来検討委員会（白杵尚志委員長）

・長期的ビジョンを持って取り組んでいく予定だったが、新型コロナウイルス感染症で2020年度はあまり動けなかった。ワクチン接種が終了すれば、活動を再開したい。

以上、議場に諮ったところ、承認可決された。

第3号議案 高校総体からの医師派遣依頼について

高校総体から、大会会場へ開催地在住の学会員の医師派遣依頼が、正式にあった。今後は高校総体開催地在住の医師に、大会への派遣依頼をしていきたい。専門医の活用という意味においても有用かと思われる。

夏井裕明理事から、今までは高校総体はそのようなことを日本山岳・スポーツクライミング協会（日山協）に公式に依頼してきているようであり、日山協と当学会との関係もあるので、慎重に事を進めた方がよいのではないかという意見があった。

これについては、白杵代表理事に対応をお願いすることとなった。

以上、議場に諮ったところ、承認可決された。

第4号議案 学術集会準備状況について

<41回学術集会>（大城和恵大会長）

- ・昨日大会プログラムを作成した（研究委員会において）。
- ・今後の状況は大会HPをご参照ください。
- ・学会抄録は4月下旬に郵送する予定。
- ・ハイブリット開催。
- ・功労賞、奨励賞については、第41回学術集会では発表せず、第42回の学術集会で2回分の表彰を行う予定とする。抄録の記載は田中賞のみとする。功労賞については次回の理事会での検討とする。当初、大会場での理事会、社員総会などは中止し、WEB開催なども検討していたが、学会の定款を精査すると、やはり現地開催する必要があり、例年通り学会場で理事会などを開催するため、大城大会長にご協力いただきたい旨が白

杵尚志代表理事より提案された。理事会、社員総会の開催日時は2021年5月28日(金)14時頃からを予定することとなった。

- ・第42回、第43回学術集会の日程と会場等の予定について報告がなされた。

以上、議場に諮ったところ、承認可決された。

第5号議案 自然退会者の承認

・2年以上年会費を滞納した自然退会候補者リストが供覧され、一部の候補者については会費を納入して会員資格を継続するよう促すこと、それ以外のものについては規定通り自然退会とすることが提案された。

以上、議場に諮ったところ、承認可決された。

第6号議案 その他

<終身会員、名誉会員について> (白杵尚志代表理事)

・終身会員と名誉会員は会費納入は不要であるが、選挙権、被選挙権が無いため、代議員、理事にはなり得ない。推戴者がいれば、お知らせいただきたい。

<慶弔について> (白杵尚志代表理事)

・先日、古原和美名誉会員が逝去された。慶弔について学会としての規定がないが、必要と思われる。他学会などを参考にして規定案を作り、次回理事会で提案したい。

以上、議場に諮ったところ、承認可決された。

以上を以て、令和2年度第2回一般社団法人日本登山医学会理事会の議案全審議を終了した。

以上